



野生鳥獣 被害防止 マニュアル

【総合対策編】

はじめに

令和3年度の鳥獣による農作物被害金額は155億円である。被害金額だけではなく、営農意欲の減退やそれによる離農など金額で算出が難しい被害も含めると、依然として鳥獣被害は中山間を中心とした農村の大きな課題である。

「鳥獣被害を改善してほしい」「どうしたらいいのか教えてほしい」などの要請が多数寄せられる行政機関も多いと思われる。しかし、鳥獣被害対策の技術は開発や実践が進んでおり、成功事例も増えてきている。一例を挙げれば、イノシシ、シカであれば侵入防止柵などの「防ぐ」技術と、侵入してくる加害個体を「捕獲する」技術、侵入防止柵周辺の藪を刈り払う「生息環境管理」を適切に組み合わせることで鳥獣被害は必ず軽減できる。本マニュアルには、鳥獣被害対策の基本的な考え方や成果が出ている技術などを可能な限り広く掲載した。

そして今後重要なのは、これら技術や対策について、地域がすべきことと公的機関が支援すべきことを整理し、効果が出る実行可能かつ具体的な実践案や取り組みの方向を提案できているか、そして、それを集落や住民が「納得」できているか、つまり「合意形成」ができているかどうかである。

今回のマニュアルには、防御と捕獲による鳥獣被害対策の基本的な技術に加え、これら地域との合意形成の方法も紹介している。鳥獣被害対策の最前線で、被害軽減のために尽力する方々の参考になれば幸いである。

令和5年3月

野生鳥獣被害防止マニュアル総合対策編

企画編集委員会

目次

第1章 鳥獣被害の現状	1
1 データで見る鳥獣被害の現状.....	2
第2章 鳥獣被害対策の基本的な考え方	5
2-1 被害対策に役立つ獣種の生態.....	6
2-2 鳥獣被害発生の原因.....	20
第3章 鳥獣被害対策の3つの柱	25
3-1 侵入防止.....	26
3-2 生息環境管理.....	39
3-3 被害軽減のための捕獲と個体群管理.....	40
◆コラム 鳥獣被害対策の忌避資材と忌避剤(農薬).....	50
第4章 鳥獣被害対策のICT	53
4-1 檻・わな管理システム.....	54
4-2 電気柵通知システム.....	56
4-3 捕獲情報システム.....	57
4-4 ドローンの活用.....	59
◆コラム ICT等を活用する際の注意点について.....	62
第5章 鳥獣被害対策のための体制構築	63
第6章 安全対策	73
◆コラム クマ対策について.....	80
第7章 鳥獣被害対策事例	83
7-1 兵庫県相生市小河集落.....	84
7-2 長崎県諫早市.....	86
7-3 三重県伊賀市阿波地区.....	89
7-4 福島県耶麻郡猪苗代町.....	91
7-5 事例についての総括.....	93